



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 Tel(78)1121
 会長 藤澤秀敬 幹事 平澤泰斗 会報委員長 唐木 章 第2749回例会 2016.8.18 No.1412



Rotary Serving Humanity

人類に奉仕するロータリー

2016-17年度 RI 会長テーマ

ソング 我らの生業

ビジター・ゲスト紹介 米山奨学生 アルズグリさん

会長談話



皆さんこんにちは。お盆が明けましたが、暑い日が続いています。

今日は米山奨学生のアルズさんに例会参加していただいています。アルズさんは、来春学校卒業後、日本での

就職を希望して活動していたところ、この度、めでたく内定があったと伺いました。おめでとうございます。来週、ウルムチに里帰りの予定でしたから、ご両親に嬉しいニュースのお土産ができてよかったですね。

また今日は、入会式が予定されています。後ほど詳しくご紹介していただきますが、伊那燃料株式会社の唐澤社長さんであります。47歳の大型新人で、波多江さん、向山さんについて若い会員になります。大歓迎です、どうぞよろしく願いいたします。

リオ五輪が6日に開幕となり連日、日本選手の活躍が報道されています。

7日には、競泳男子400m個人メドレーで萩野公介が金、瀬戸大也が銅、重量挙げ女子で三宅宏実が銅、柔道男子で近藤、高藤が銅。水泳の表彰式で日の丸が2つ上がる映像には胸が熱くなるものがありました。

そして体操男子団体が金メダルに輝きました、アテネ五輪以来3大会ぶりということでした。内村をリーダーにそれぞれの持ち味を發揮して見事な金メダルでした。内村が失敗をしてもチームが一丸となってミスをカバーし補い合って総合力で勝ち取ったものであったと思います。

三日後の体操個人総合でも内村は前回ロンドンに続き金メダル獲得、最後の鉄棒までトップを争ったウクライナのベルニャエフ選手の演技も見事でしたがさすがに内村はやってくれました。ぎりぎり0.099の差で逆

転の金。

表彰式のあとの外国人記者の「審判員が内村に好意的だったのでは？」という意地悪な質問に銀メダルのベルニャエフ選手が「無駄な質問だ」、「内村さんは最高の演技で、最高の得点を取ってきている」ときっぱりと答えたのが良かった。五輪の個人総合で、北京で銀、ロンドンで金、世界選手権では6連覇中の内村航平は各国の選手から見ても特別の存在のようです。

そのほかにも7人制ラグビー、カヌーも日本選手が活躍しましたし、柔道も今回はかなり盛り返し、12のメダル獲得で次回東京にむけ復活の兆しが見えてきました。

また今朝この原稿を書いているさなか、テレビ実況でレスリング女子が3階級すべてで金メダル獲得しました。登坂絵莉選手、伊調馨選手、土性沙羅選手の3人です。3人とも逆転勝ちのドキドキの勝利でしたが、紙一重実力も上回っていたという印象でした。特に伊調選手は初の4大会連続制覇、誰もできなかったことをやってのけました。ベテランと新人がかみ合って、次回の東京五輪に繋がる素晴らしい勝利と思います。明日の吉田沙保里選手にも頑張ってもらいたいところです。

入会式 伊那燃料株代表取締役社長



唐澤幸利様 (紹介者 藤澤洋二会員)

昭和44年8月8日生まれ47歳。

伊那燃料株式会社は昭和26年創業、今年65周年を迎えます。

ご指導宜しく願い致します。

幹事報告 別紙をご覧ください。

出席報告 会員数54名 内出席免除18名 長欠1名 出席者36名 事前メーキャップ0名 出席率69.57% 前々回81.82%変更なし。

ニコニコボックス

藤澤秀敬、平澤泰斗 唐澤幸利さん入会歓迎致します。宜しくお願い致します。

藤澤秀敬 リオ五輪日本チーム活躍おめでとう。

アルズさん就職内定おめでとうございます。

唐澤幸利 入会宜しく申し上げます。

鈴木多門 アルズ就職内定しました。クラブの皆さんありがとうございます。

藤澤洋二、橋爪利行、高田 充 唐澤幸利さんのご入会を歓迎致します。

川合 博 先週、夏休みをとって家内とパリ 5泊の旅をしてきました。パリは好天でしたが肌寒い位の涼しさでした。賑っていましたが日本人は少なかったです。

会員卓話 波多江崇史会員 演題「保険ビジネスへの先進テクノロジー活用」



保険会社の人間が保険の話をしてあまり面白くなく思うので、本日はその前任地で携わっていた、ちょっと毛色の違うテクノロジー関係の仕事の話をさせていただきます。

この4月より赴任してまいりまして、妻・8歳の息子・2歳の娘とともに伊那ライフを満喫しております。息子に至っては学校から毎日泥だらけで必ず手に虫や魚などを捕まえて帰ってくるという有様で、現在波多江家はちょっとした動物園だか昆虫館だか見世物小屋みたいな状態です。子どもたちが自然に親しみ、存分に楽しんでいるのを見るにつけても、最高のタイミングで伊那へ来られたと思っています。

私自身、実は営業そのものは8年ぶりということになりますが、この3月までは東京の本店でビジネスプロセス改革部という部署にいました。やけに長ったらしい大げさな名前の部署ですが、いろいろな既存の業務プロセスに疑問符を投げ掛け、メスを入れ、様々なソリューションを駆使して変革を行うという、現業を持たない改革専任セクションでした。

結果的にソリューションがITなど先進テクノロジーになることが多かったのも、最近話題のAI(人工知能)やpepperといったロボット、自動運転車やドローン、あるいはモバイルワークなどについての研究や企業連携、当社ビジネスプロ

セスへの応用とシステム開発が中心でした。

中でも本日は、最近日経新聞などでもその文字が出ない日はないと言ってもいいほど注目されている人工知能・AIについてピックアップしたいと思います。皆様、AIにはどのようなイメージをお持ちでしょうか。

春先に「AlphaGO」が話題になりました。「AlphaGO」というAIが囲碁のプロ棋士をついに打ち負かしたというニュースでしたが、このようにAIが人よりもどんどん賢くなって、ターミネーターの世界のように人間を支配してしまうのでは、という危惧される声もあるようです。しかしながら、現時点のAIはそこまでは行けないようです。

IBMのWatson等に触れてきた実感ですが、現時点でのAIの本質は『膨大なデータをもとにして現在の問題に取り組み、学習・成長を通じて、統計的に正しそうな答えを、高速度で出す』ものに過ぎないというのが正しそうです。「AlphaGO」もあくまでもこの範疇で、囲碁そのもののデータアルゴリズムの解析と最適解の算出が凄まじく速いことが勝因というところでしょうか。

この特徴を保険ビジネスで活かそうと思うと、すぐに思いついたのは照会応答システムや、お客様属性データに基づく保険補償のすすめ機能、壊れた車両等の写真のみでの修理費算定などでした。すぐに開発できて活躍してくれると思ったのですが、いかんせん、スタート時点ではAIくんが思ったより「おバカ」でした。

先程も触れましたが、AIの特長の一つはディープラーニングと言われる「学習による成長」です。「統計的に正しそうな答え」を出してきますが、統計データが薄い段階では、ちょっとズレた答えやかすりもしない答えが返ってきます。これに対して根気強く、「その答えは〇%合ってる！」と評価を積み重ねてあげることで、学習し成長してくれます。

例えば、こんな例文をAIに読ませるとします。「波多江さんは今年東京から伊那へ引越しましたが、福岡へのお盆の里帰りには松本から飛行機を使えばいいということに気づきました」地名が4つ出てきました。続いてこんな問いをしてみるとします。「波多江さんの生まれは？」と。出てきた4つの地名から解を探さないといけません。

AIは自然言語や文章の行間やあいまいな表現や裏の意味を理解するのが苦手です。「生まれ」と「里帰り」が文意として結び付けないといけませんが、この思考の階段を教えてあげる必要があります。これぐらいの一般的な文章であればすでに回答できると思いますが、皆様が携わられている仕事に置き換えてみてください。格段に専門的な用語が用いられていたり、技術にせよ営業にせよ熟練した人にしかわからない論理や理屈があるはずで、それを教え込むのは大変な労力が必要です。

同時に、そういった専門的な論理や思考の階段を因数分解できて文章化・プログラム化ができる人材は、AIの進展が止められないこれからの時代にあっては大変に重宝されビジネスチャンスが大きいと思います。「そんなものは感覚だよ」と言っている部分を、分解して明確にできる人材です。でもAIに教えることができない「感覚でしかできないこと」というものも間違いなく残っていきます。

「AIにより無くなる職業」といった記事が出ることもあります。人間の仕事を効率よく機械に置き換えられるものだと考えると不幸になるばかりで先はありません。AIはあくまでも人間の仕事をサポートしてさらなる成果を生み出すものであって、機械の強力な補完性・サポートによって生産性が上がり、人間が幸せになり、熟練した人間の需要がさらに増す、という前提で捉えるべきだと思います。

AIにも様々な短所があります。たとえば、意思がない／人間のようには知覚できない／事例が少ないと対応できない／行間が読めない／問いを生み出せない／生産的な批判もできない／閃きがない／常識的判断ができない／人を動かす力・リーダーシップがない、等です。

そういう点を考えると、私たち人間は今後、機械の強力な補完性をベースに、アイデアを乗せ、変革を起こせること／過去のデータが役に立たない分野で創造性・芸術性を発揮すること／人工知能を成長させるため、何をやらせるかをデザインし、論理的思考の因数分解・可視化ができる／「ヒューマンタッチ」＝人と人との接点からしか生まれえないものを生み出せること、等が求められると思います。

私も漫然と日々の活動を送るのではなく、常にちょっと先の世界やちょっとしたアイデアを意識して取り組んでいければと考えています。

また伊那のことももっと知り、伊那を楽しみ、伊那の皆様に触れながら、伊那の発展にも貢献していければと思います。本日は貴重な機会をいただきましてありがとうございました。

矢島 勇会員

演題「私の履歴書」

私の生まれは松本市ですが、塩尻市広丘との境に家がございまして、広丘駅から西へ1キロ弱の所に住んでおります。奈良井川の西側にある松本地籍の田園と、塩尻地籍側に畑があり、細々と荒らさない程度に野良仕事もしております。本来は、松本市の保育園、学校に行かねばなりません。塩尻地籍に農業倉庫がありましたので、家から300mの塩尻の保育園、500mの広丘小学校へ通い、中学からは本来通うべき、4.5km離れた松本の菅野中学に通いました。

生まれた時から体は人一倍大きく、背丈と駆けっこと力くらは負けた事はありませんでした。おふくろは、授業参観でなく運動会だけは活躍が楽しみだったと言っていました。村祭りは、神社の境内に土俵があり毎年子供相撲が開催されていましたが、低学年の頃から体格は上級生くらいあったので、勝ち抜いてプラモデル等景品をゲットするのを楽しみにしていました。小学校卒業時の身長は164cmでずっと一番後ろでしたが、中学校に入ると170cmの女の子がいて初めて大きい同級生を見上げていました。部活の後で腹ペココンビの友達と、給食室に沢山残っている牛乳を毎日一気飲みしていたら、すくすく成長し、2年春の健康診断で184cmになりまして、大きな女の子だけ大いに喜んでくれました。体育の先生から、パワーを活かせと陸上部の助っ人に呼ばれ、ために砲丸を投げたら結構飛んだので、優勝できそうだと言われ、投げ方もろくに教わらず一杯投げている間に中信大会の前日になって肘が痛くなり一投だけ投げましたが残念ながら馬群に沈んでしまいました。

大学4年の時にハワイ旅行の景品を目指し、テレビ東京の「勝ち抜き腕相撲」に出ました。3人



抜きまで進んだのですが、4人目登場の小柄でマッチョなマッサージ師の兄さんに負けてしまいました。その後腕力を活かしたのは、お祭りに子供3人を連れて行き、疲れたおんぶと言われ、長女をおんぶ、自助を肩車、長男を抱っこして歩いて帰れたことぐらいです。その子供たちも娘二人は就職し、息子は大学3年と全員が家を出ており、カミさんと寂しく過ごしております。

話は職業分野に移りますが、松本に本店のある長野銀行、当時の長野相互銀行に入社しました。

私の初任店は上田支店でした。現在は「真田丸」ブームで大変な賑いを見せていますが、毎年4月に開催される「上田真田祭り」は、今年34回目を迎え武者行列には、草刈正雄等の真田丸キャストも出演し、大変な賑いでした。当時お祭りへの参加要請が金融機関にもあり若手職員にお鉢が回り参加しました。お祭りの打ち合わせ会で、武者行列の担当割りをするのですが、その他大勢は足軽の支度を指示され、足軽の衣装を着たところ体に合わず「きついです」と騒いでいましたら、「仕方ないからこっちを着てみる」と武将の衣装を頂き、若輩ながら長座しを纏う真田の武将の格好で武者行列に参加しました。上田城から上田駅前大通りへ足軽を引き連れ闊歩するのは非常に嬉しかった思い出です。我が家の家紋も「真田六文銭」なので、関係ないのかもしれませんが真田十勇士になったつもりでございました。

銀行の勤務については、その後自宅通勤できる本店の資金証券部に2年勤務し、東京支店出店にあわせて同部の東京駐在としてバブルの東京へ行くことになり、結婚したばかりのカミさんと蕨市のマンションで3年間過ごしました。長女は、蕨市民病院で生まれ、翌年には次女も生まれたので、東京勤務当時は出来るだけ早く帰り、子育てもよく手伝っていました。当時の仕事は、国債および国債先物を売買するトレーダーであり、金利が乱高下する場面ではヒヤヒヤ肝を冷やしておりました。相場での勝ち負けに対して最も影響を及ぼすのは、心理戦を制する(チャート壊し、ロスカット誘導等)多額の資金を有する外人投機筋等の動きであり、疑心暗鬼になりながら、自分の相場観に信念は持たず、動いた相場の結果が正解であると弾力的に考えるようになりました。

平成25年4月、日本銀行は量的金融緩和を実

施し、国債の金利は急低下し(価格は上昇)0.2%代を付けました。その時、証券部と話をし「この金利水準は、いくらなんでも行き過ぎだし、売れだよ」と進言しました。その後は0.4~0.6%での推移が続いたので、その場面では正解だったと思いますが、日本銀行の金融緩和政策は、異次元緩和、マイナス金利導入、追加異次元緩和と続き、本年7月には、10年国債はマイナス0.3%、20年国債までマイナスとなる異常な状況となっています。日本銀行、金融庁は、監督官庁であり悪口は言えませんが、2%の物価安定目標ってどうなの?超低金利下での円高進行・・英国のEU離脱、米国の利上げ見送り観測、安全な日本資産へのシフト等・・後付けの理由で金利、外為、株価が大きく変動し、先行き不透明感の強い中での企業経営は難しさを増していますが、八十二銀行の矢島支店長とダブル矢島で地域貢献できるように金融機関としての役割を果たして参りたいと思います。

転勤族として、東京で2回勤務した他は県内本支店を廻ってきました。お祭りは大好きで、今年「伊那まつり」に参加し楽しませていただきましたが、踊りが難しいのに驚きました。さすが宇崎竜童作曲です。来年は勘太郎祭りから60周年との事で、歴史と伝統を継承した盛り上がりを目指しています。

伊那に着任して4ヶ月ですが、銀行員生活も終わりに近づきつつあり、体は勤続疲労により、腰はすべり症、脊椎管狭窄症で悪い時は歩くのにも支障があります。中央病院で診てもらっているのですが担当の萩原先生も手術に慎重であり、手術をせずに如何に治すか色々試しているところです。カミさんは、痩せなきゃだめだと、家庭菜園のレタス等薬物、野菜中心の食事を出してくれていますが、暑い暑いと飲み干すビールを見て、「私がいくら心配しても意味がない」と匙を投げられています。しかし、なんとかゴルフが出来るよう回復を目指し、良くなった時にはゴルフ部に参加させてください。カー杯ドライバーを振り回したいと思います。

お祭り男の半世紀として、取り留めのない徒然話をご清聴いただきありがとうございます。

(紙面の都合で一部省略させて頂きました。)